

【気象災害及び大規模地震等に関する特別警報・警報・注意報等への対応】

静岡県立東部特別支援学校伊豆高原分校 TEL 0557-55-2850

情報		授業	登校前発令	登校後発令	
気象災害	注意報	強風	平常授業	①今後の気象情報や地域の実情等を家族と相談し、安全に登下校できることを確認した上で登校する。 ②公共交通機関の運行停止等、安全に登下校することが心配される場合は、学校に連絡し、自宅で待機するか状況をみて登校する。 ③登校が困難な場合のみ学校に連絡する。	気象情報や地域の実情に応じ、下校させることもある。
		大雨			
		洪水			
	警報	洪水	大雨 暴風	【登校前】 午前6時の時点で発令されている場合は自宅待機とする。	①公共交通機関の運行状況等をもとに、通学路の安全を確認した後、下校させる。 ②安全に下校することが困難な生徒については、保護者と連絡をとり、適切な対処をする。
		授業		【午前9時半まで】 解除された時点で登校する。 ※登校に際しての留意事項は、注意報発令時と同じ。	
		休校		午前9時半の時点で発令が継続されている場合は休校とする。	
特別警報	全て <small>(大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪、津波、噴火、地震)</small>	授業中止	自宅待機とする。 解除された場合は、大雨・暴風警報発令時に準ずる。	①学校待機とする。 ②解除された場合は、大雨・暴風警報発令時に準ずる。	
停電等発生時	学校が 停電・断水	原則として休校	トイレ等の生活水が確保できない。 十分な照度が確保できない。 上記理由により授業実施に支障があるため、原則として休校	大雨・暴風警報発令時に準ずる。	
大規模地震	南海トラフ地震臨時情報	調査中	平常授業	通常登校	通常授業・通常下校
		巨大地震警戒	授業中止	自宅待機 解除された場合は、大雨・暴風警報発令時に準ずる。	大雨・暴風警報発令時に準ずる。
		巨大地震注意	平常授業	通常登校	通常授業・通常下校
		調査終了	平常授業		
	震度5弱以上の地震発生	授業を中断し、校舎等の安全を確認	大雨・暴風警報発令時に準ずる。 ※状況に応じて安心安全メール等を通じて午後から授業開始か休校かを連絡する。	大雨・暴風警報発令時に準ずる。	

情報		授業	登校前発令	登校後発令	
津波	注意報	平常授業	気象注意報発令時に準ずる。	気象注意報発令時に準ずる。	
	警報	授業中止	大雨・暴風警報発令時に準ずる。	①通学路が主に学校より高台にある生徒の場合は、公共交通機関の運行状況等をもとに、通学路の安全を確認した後、下校させる。 ②通学路が主に学校より低地にある生徒の場合は、学校で待機し保護者と連絡をとり、適切な対処をする。	
全国瞬時警報システム	Jアラートの情報が伝達された場合	ミサイル発射・通過	平常授業	情報を確認し、安全に登校することが困難な場合は自宅で待機し、状況を見て登校する。なお、学校にその旨を連絡すること。	直ちに校舎内に避難し、生徒の安全を確保する。 原則として、警報が解除されるまで学校で待機する。
		ミサイル発射・落下	休校	自宅待機する。 必要に応じて、学校安心安全メールで学校の対応情報を確認する。	直ちに校舎内に避難し、生徒の安全を確保する。 原則として、警報が解除されるまで学校で待機する。

伊豆東部火山群災害対策

※一段階前のレベルで下校又は引渡しを開始する場合もある。

予報警報	レベル	授業	登校前発令	登校後発令
噴火警報	レベル5	休校	自宅待機・避難	下校又は引き渡し
	レベル4			
火口周辺警報	レベル3	原則 平常授業	原則通常登校 必要に応じて、学校安心安全メールで学校の対応情報を確認する。	避難準備を整えた上で授業を継続。 校外・屋外での活動は中止
	レベル2	平常授業	通常登校	通常授業・通常下校
噴火予報	レベル1	平常授業	通常登校	通常授業・通常下校

◎注意報、警報等は「伊東市」または「自分の居住地」に発令された場合とする。

自宅待機の場合、注意報・警報が解除されたり、切り替わったりすることがあるので情報収集に努める。
(「伊豆北地域」として報じられる場合があるが、必ず市町村の情報を確認する。)

◎情報は、「NTT 177」、「地上波デジタル放送dボタン」、気象庁ホームページ、日本気象協会 tenki.jp 等で入手する。